

学校名（ 出雲市立湖陵中学校 ）

○取組の概要・・・（ ④ ）

教職員の多忙化解消として以下の取組を行った。

- ・定期テスト前の部活動休止期間について、「テスト前日まで休止」を「テスト当日まで休止」とする。
- ・「職員朝礼なしの日」を設定する。
- ・「掃除なしの日」を設定する。
- ・「オフィスクリーンの日」を設定する。

○成果と課題（成果のみでも可）

・上記の取組を行うことで、設定しない日に比べて20分から60分程度の時間を生み出した。時間の使い方は原則各自に任せることとし、生み出した時間で会議の設定はなしとした。各自が勤務時間内に有効に使える時間ができ、事務作業や生徒と関わる時間が増え、職員、生徒ともに好評の評価を得ている。

○おすすめポイント

- ・取り組みながら修正する前提で、まずは試してみることも大切と感じている。

学校名（ 浜田市立第二中学校 ）

○取組の概要・・・（ ④、⑦ ）

*毎週月曜日や職員会議日は、定時退勤日に設定。加えて自己設定の定時退勤日の取組。

- ・働き方の見直しについて4月の職員会議で再確認する。
- ・管理職から働きやすい環境となるための職員間の人間関係づくりについての話をした。
- ・今年度の本校の働き方見直しの具体的な取り組みを管理職から示した。
- ・1学期終了後、職員から取り組みへの様子や意見を聞き、改善へ対応できることに取り組んだ。
→職員室出入口のホワイトボード設置。取組への再確認。声かけ。有給休暇取得（5日以上取得）促進。
- ・管理職は、職員の業務状況や長時間勤務上業を把握し個に応じた声かけのタイミングや内容を工夫した。また、SSSや学校支援員と職員の連携を促すため、業務日誌や会話を活用し、日常的に行いコーディネートする。



○成果と課題（成果のみでも可）

*成果

- ・今年度の学校評価（職員対象）の自由記述に「いつも細かいお気遣い、声かけありがとうございます。」「小さなことを少しずつ改善していったように思います。職員室のホワイトボード等、職員の声反映されていると思います。」「勤務時間が長くないように校長先生、教頭先生に声をかけていただき感謝しています。」「職員間が和やかでとても気持ち良く毎日勤めさせていただいています。」（一部抜粋）など複数の声があった。
- ・定時退勤日は3割の職員は定時退勤し、2割の職員は勤務時間30分後、3割が1時間後には退勤していた。1割の職員は、1.5時間後、1割は2時間後には退勤できていた。昨年度より定時に退勤できた職員の割合が増えた。
- ・職員の間関係がより良好となった。

*課題

- ・学校として月曜日の定時退勤日や自己設定の定時退勤日を設定しているが、定時退勤ができている職員がまだまだ少ない現状がある。別日に自己設定した職員は約1割。昨年度と比べて職員の退勤時間は早くなっているが、改善の余地がまだまだある。

○おすすめポイント

- *働き方の見直しの目的を再確認して管理職としての姿勢を適宜示すこと。また、職員の意見を取り入れながら進めていくこと。参画意識や達成感・充実感が向上する取組や声かけを工夫することが大切だと思います。